

第16回

日本バイオリジカルコントロール協議会講演会

第5回

環境保全型農業シンポジウム

共催シンポジウム



農業復興を目指す東北で生物農薬を中心としたIPMを話し合おう!

### 開催のお知らせ

国の重要施策である「食の安全・安心確保」において、「IPM」や「環境保全型農業」が注目され、その技術として、天敵や微生物防除剤、フェロモン剤等、生物農薬の積極的な活用が望まれています。震災後農業復興を目指す東北にて、そうした生物農薬を紹介し、話し合っただくことを目的としてシンポジウムを開催します。

日時

2012年11月7日(水) 10:00~17:30

会場

仙台市戦災復興記念館  
宮城県仙台市青葉区大町2丁目12-1

資料代

3,000円

定員

200名(先着順)

お申込みはこちら

#### ■お申込み期間

2012年  
9月24日(月)~11月2日(金)

#### ■お申込み方法

URL <http://www.biocontrol.jp>  
URL <http://www.biseibutsu.jp>  
E-mail [symposium@e-hokuto.co.jp](mailto:symposium@e-hokuto.co.jp)  
FAX: 03-3643-6538

主催 日本バイオリジカルコントロール協議会 <http://www.biocontrol.jp/>  
日本微生物防除剤協議会 <http://www.biseibutsu.jp/>

後援 農林水産省/宮城県/日本植物防疫協会/日本植物調節剤研究協会  
農林水産航空協会/農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター  
全国農業協同組合連合会/全国農薬協同組合/全国農業改良普及支援協会  
日本植物病理学会/日本応用動物昆虫学会/日本農薬学会

参加申込みに関するお問い合わせ

共催シンポジウム事務局 TEL:03-3643-0633

ホクト株式会社(担当:永井) (受付業務時間/平日9~17時)

# プログラム

※敬称略

- 10:00～** ▶ **開会挨拶** 杉田 邦明 (宮城県農業・園芸総合研究所 所長)
- 10:05～** ▶ **東北地域IPM事業報告**
- ①震災復興後の宮城県におけるIPMの取組 (イチゴ、露地野菜)  
増田 俊雄 (宮城県農業・園芸総合研究所)
  - ②トマト栽培におけるIPMの取組み  
小林 智之 (福島県農業総合センター)
- ▶ **IPM総論**
- ③日本における天敵利用 ～これまで と これから～  
大野 和朗 (宮崎大学)
  - ④水稻の環境保全型種子消毒法の普及による諸問題とその対策  
藤 晋一 (秋田県立大)
- \*\*\*\*\* 昼 休 憩 \*\*\*\*\*
- 13:00～**
- ⑤露地野菜におけるIPMの取組み  
小木曾秀紀 (長野県野菜花き試験場)
  - ⑥ 鹿児島県におけるIPM推進について  
柿元 一樹 (鹿児島県農政部)
- ▶ **先進事例報告**
- ⑦土着天敵タバコカスミカメを利用したアザミウマ対策  
石倉 聡 (岡山県農業普及指導センター)
  - ⑧バッグタイプ製剤天敵昆虫の利用  
市川 大輔 (アリスライフサイエンス株)
  - ⑨リンゴ園のヒメボクトウに対する性フェロモン剤の交信かく乱効果  
伊藤 慎一 (山形県農研センター)
  - ⑩イチゴにおける天敵、微生物農薬、化学農薬を使った害虫防除について  
藤浪 裕幸 (静岡県農林大学校)
- ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 講演終了・会場移動 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
- 16:00～** ▶ **展示&ポスターセッション (展示会場)**
- ・議題ごとのポスターセッション
  - ・発表者に依頼し、Face to Faceの情報交換 (質疑応答、相談コーナー)
- 17:30～** ▶ **閉 会**

## \*\*\*会場案内\*\*\*

### 仙台市戦災復興記念館

〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目12番1号  
TEL. 022-263-6931 FAX. 022-262-5465

## \*\*\*交通案内\*\*\*

- JR  
「仙台駅」下車：西口より徒歩20分  
西口よりタクシー5分 (初乗り運賃区間)  
西口バスプール15番のりば
- 市営バス  
「東北公済病院・戦災復興記念館前」下車：徒歩2分  
「電力ビル前」下車：徒歩8分
- 市営地下鉄  
南北線「仙台駅」下車：徒歩20分  
南北線「広瀬通駅」下車：西4番出口から徒歩10分

